

【様式1】 平成29年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	八百津町	学校名	八百津町立八百津小学校			
校長名	納土 良雄	対象学年	5・6年・全校	人数	136人	
活動名	創作劇『イエフダーと七つの灯』 ひびきあい集会		時間数	5・6年 (60時間) 全校 (3時間)	継続年数	12年
題材	① 自然環境 (山野・河川・動物・植物・その他) [ ] ② 歴史 (出来事・史跡・先人・その他) [杉原千畝氏の業績] ③ 文化 (芸能・芸術・民話・風習・その他) [劇の創作] ④ 地場産業 (農業・水産業・伝統工芸・その他) [ ] ⑤ 絆を深め、よりよいふるさとをつくる活動 [人権] ⑥ その他 ( ) [ ]					
複数年継続するための工夫改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度から新しい脚本「イエフダーと七つの灯」にし、創作劇の上演と人権にかかわる取組の発表を位置付けている。</li> <li>・3年生から杉原氏の功績を歌った曲目「ビザ一枚」に取り組み、杉原千畝氏の人道精神を大切に受け継いでいる。</li> </ul>					
<p><b>1 ねらい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の生んだ偉人杉原千畝氏の業績やその時代の歴史について学び、また人権について児童会で取り組み、その発表の場として創作劇「イエフダーと七つの灯」を上演する。</li> <li>・花フェスタ記念公園での上演や「ひびきあい集会」での取り組みを通して、保護者・地域の方に「人道の町やおつ」を発信するようにしている。</li> </ul> <p><b>2 活動の概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間のテーマを6年生は「共に生きる」5年生は「八百津の自然・文化」としている。6年生は、今年度より新しく設置した「人道の部屋」で調べ学習を行ったり、各個人の課題追究学習を行ったりしながら杉原千畝氏の人道精神を学び合っている。</li> <li>・法務局より人権推進校に選ばれ、5年生が「人道の花運動」として、花を育て、地域の福祉施設などに花を贈るなど、花づくりを通して人権の大切さを地域に発信している。</li> <li>・11月3日(金)に可児市の花フェスタ公園での上演、24日(金)名古屋市立平和小学校との交流、そして、25日(土)には、「ひびきあい集会」の中で「イエフダーと七つの灯」を上演し、杉原千畝氏の人道精神を受け継ぎ伝えていくことを大切にしたい。</li> </ul> <p><b>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・劇の上演は、会場を町の施設とし、地域の方にも来ていただきやすい場所とした。また土曜日開催ともした。当日は、町長さんをはじめ多くの来賓や地域の方、保護者の来場があり、約400名の参加があった。また、第二部として、藤田恵美さんによる「OMOIYARI音楽会」を開催し、全校児童が「OMOIYARIのうた」を一緒に手話をつけて歌うなど、思いやりの心を伝え合った。</li> <li>・「ビザ一枚」など、杉原千畝氏の功績を歌ったオリジナルの曲に取り組み、手話を付けて歌ったり、杉原千畝氏の思いを大切にしたりして、3・4年生が参加する町の音楽会で歌の内容を紹介しながら披露した。</li> </ul> <p><b>4 活動による児童生徒の変容(伸長・成長等)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童は、自分たちの生活の中での人を思いやることの大切さについて認識を深めた。また、杉原千畝氏の人道精神を学び、夢や志をもって生きて行くことの大切さに気付いた。</li> </ul> <p><b>児童の振り返りより(一部分を抜粋)</b></p> <p>「世界記憶遺産には登録されなかったけど、千畝さんから学んだ人道精神、千畝さんの功績に誇りを持ち、あこがれている。大人になっても生かしていくこと、伝え続けていくことが私たちの責任である。」(6年生児童)</p>						



花フェスタ記念公園  
での上演とバラの植樹



外部講師による劇指導



名古屋市平和小との交流

「ひびきあい集会」の様子(成果交流も含む)

